

ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2012年4月～2013年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させてい
たきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 宮城県大河原町立大河原中学校
種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()
住所 〒989 - 1247
宮城県柴田郡大河原町字東1番地

Website : _____
児童生徒数：男子 326 名 女子 297 名 合計 623 名
児童・生徒の年齢 13 歳～ 15 歳

2. 担当者

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（ボランティア活動）

4. 活動概要

1年間の主な活動内容について簡単に記載願います（欄が足りなければ、添付資料をつけていただいても構いません）。

2012年

5月：生徒総会

復興支援特別委員会の設置を決定。生徒への復興支援の意識を高めるとともに、継続して支援を行う体制づくりを整える。

6月：第1回復興支援特別委員会の開催

仮設住宅に手作りうちわをプレゼントしようと生徒会長が提案し、実施することとする。

7月：手作りうちわ制作

各クラスで25個ずつ制作し、各クラスでメッセージを決めて書く。

7月29日：手作りうちわの配布

岩沼市ボランティアセンターの提案で、なかなか支援物資が届かない「みなし仮設」の住民が集まる会に呼んでいただき、支援の場を広げることができた。また、仮設住宅全戸に直接配布した。

8月29日：佐賀県北茂安中学校代表生徒4名と担当の先生来校

被災地の視察と、支援活動についての具体例を求め、本校に来校。交流を深めた。

9月：第16回ボランティアスピリット賞へ申し込み

本校の活動を広く紹介し、他校が同じように、支援活動の輪を広げる機会にしようと思い申し込む。

10月14日：文化発表会での発表

今年度の活動内容を全校生徒ならびに地域住民に広く知ってもらった。

12月1日：第16回ボランティアスピリット賞

北海道・東北コミュニティ賞を受賞

生徒たちの自信となる賞となった。

12月8日：岩沼市仮設住宅にクリスマスツリーを飾る

季節の行事を楽しんでもらうために、3本のクリスマスツリーを飾り付ける。ツリーの飾りは生徒からの募金でまかない、約3万3千円の募金が集まった。生徒20名で、飾り付けに伺い、手作りクリスマスカードも120枚配布した。新聞やニュースでも紹介され、生徒達の励みとなる。（12月25日まで展示）

2013年

1月22日：管内志教育実践報告会

